



【校訓】 自立 不屈 進取

平成30年度

12月号

H30. 12. 21発行

### 自立の第一歩

校長 前田 浩二

大河ドラマ「西郷どん」が終了しました。歴史的事実を知りながら最終回を観るのは辛いものです。郷中教育の中で兄弟のように育った西郷と大久保がそれぞれ亡くなるシーンは涙なしでは観られませんでした。

先日、大塚地区の忘年会に参加したときに地域の先輩方から驚くような話を聞きました。先輩方が若い頃には、中学生ぐらいになった男子は青年になるまで公民館で寝泊まりをしていたそうです。それも期間限定ではなく、年中だということでした。厳しい規則があり、青年である先輩から様々なことを教わったそうです。これはまさに郷中教育だと思いました。自立した一人前の人間に育てるために、家庭や学校だけでなく、地域が大きく関わっていたことに感動すら覚えました。しかし、このような取組のできない今は、子どもの自立に向けて、家庭や学校の果たす役割は、改めて大きいと感じました。あまりに便利になりすぎた世の中では、自立させていくということを特別に意識して子育てをしないと、何もできない人間にしてしまう危うさがあるような気がしています。

我が家を振り返ってみると、3人の子どものには、2歳ぐらいから家族の洗濯物をたたむことやお風呂掃除などを任せました。食事の時の配膳や食器の片付けは全員で行うのが決まりでしたし、多くの手伝いをさせてきました。自立の第一歩は家庭の中で役割をもたせることからだと、ある方から聞いたからです。今、子どもたち3人は鹿児島市で共同生活していますが、今までの経験が役に立っているようです。社会人2年目の長女は、朝夕の食事づくりと高校生の二男の弁当づくりと掃除を担当しています。大学生の長男は、毎日の洗濯から乾いた洗濯物をたたむところまでが役割です。二男は学業や部活動で多忙？という理由でゴミ出しとトイレ・お風呂掃除程度の軽めの仕事に免除されています。しかし、3人ともお互いの不平・不満をよく電話で訴えてきます。「1日にTシャツを7枚も洗濯に出す奴がいる。」とか、「ちゃんと味付けしているのにマヨネーズを大量にかけるのは許せない。」や「毎日鍋物ばかりだ。」などです。聞き役に徹しているのですが、あまりにも不満がたまったときには、子どもたちのところに行って、家族会議を開いています。我が家の郷中教育？はなかなかうまくいきませんが、子どもだけの共同生活も、後々いい思い出になるのかもしれない。

さて、生徒たちが家庭に帰る冬休みです。時間に余裕のあるときですから、家族のために何ができるかしっかり考えさせ、家の手伝いをたくさん任せてください。自立の第一歩だと思います。また、新年を迎えるにあたり、夢や将来のことについて語り合う家族会議を開いてみてはどうでしょうか。来年もどうぞよろしくお祈りします。

### 立神の如く

あの頃の先生

1年1組担任・保健体育担当 長 慶一郎

私が中学生の頃、当時の中学校は全国的に荒れていた。私は福岡の〇〇というところの出身で、「〇〇中」と聞くと周囲の生徒たちが避けて通るくらいの悪名高き学校であった。天井は穴だらけ、壁や机は落書きだらけ、廊下で唾を吐く生徒、たばこやシンナーを吸う生徒、夜はバイクに乗って走り回る生徒、いじめや暴力をする生徒も数多く、とても学習をするような環境になかったのを覚えている。そんな中で、当時の先生たちが一生懸命に生徒たちを育てよう、学校を変えていこうとされていた姿が私の記憶に残っている。

私が2年生の時、修学旅行で広島に行く計画があった。当時生徒会長であった私に学年主任の先生が「1ヵ月後の日曜日に修学旅行の下見に行くから、生徒を10名ほど集めてくれないか？」というものであった。過去の先輩方もそのようなことは一度も実施したことなどなく、今年の修学旅行を成功させるために、学年の仲間を引っ張ってくれる人に協力してもらいたいとの理由からである。結局、日曜日に教師3名、生徒12名のメンバーでバスを貸し切って日帰りで広島まで行き、流れを確認してきた。

下見に行ったメンバーの活躍もあり、修学旅行も無事成功。充実した思い出を残すことができた。現在、教師になって当時のことを考えてみると、正直、今ではなかなかできないことを自分たちのためにしてくれたのだなと感じる。

果たして今の私は、生徒たちをどこまでサポートしてあげられているのだろうか。卒業して残るような財産を1つでも多く残してあげたいと思う。

### 税の作文 国税庁長官賞受賞

平成30年度中学生の「税についての作文」募集において、3年生の桑原日菜子さんが、「国税庁長官賞」を受賞しました。

12月3日(月)に、知覧税務署、納税貯蓄組合の方が来校され、校長室で表彰式を行っていただきました。『税で支え合う』という文題の作文は、自分と税金との関わりを知ったことをきっかけに税金を身近に感じ、改めて税の仕組みについて考え、「税で支え合う」社会の大切さについて述べたものです。

先日は南日本新聞社の取材も受けて、20日(木)の南日本新聞にも記事が掲載されましたのでご覧ください。



### なぎなた体験授業

2020年かごしま国体の枕崎市開催競技の「なぎなた」への興味・関心をもってもらうと、県なぎなた連盟から3名の講師が来校され、2年生になぎなた体験授業を行っていただきました。

2時間の授業で、基本動作から教えていただき、初めてのなぎなたをととても楽しく体験していました。



### 緑化活動「一人二鉢」

春先に色とりどりのパンジーが咲いてくれることを楽しみに、一人二鉢、丁寧に植えました。



### 持久走大会

それぞれの体力や目標に応じて、全員が一生懸命に臨んだ持久走大会。互いに応援する姿にも感動あふれる大会でした。

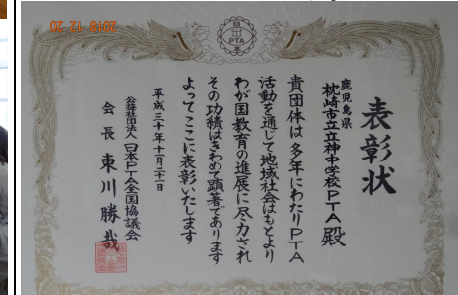
団体の部	優勝	2年2組
	二位	1年1組
	三位	2年1組
個人の部	優勝	伊藤 怜央 (新記録)
	二位	篠原 稜瑛
	三位	田畑 優駿
個人の部 (女子)	優勝	青野 歩波
	二位	藤崎 琴音
	三位	廻 萌々香



### 立神中学校PTA活動への表彰

これまでの立神中PTA活動の継続した着実な積み重ねが評価され、「平成30年度日本PTA全国協議会会長表彰(団体)」を受賞しました。

式典が11月21日に東京で行われ、菊永PTA会長が出席し、表彰状(下写真)を授与されました。これを機に、子どもたちのためにさらに充実した活動に取り組んでいきたいと思ひます。



### 【1月の主な教育活動】

- 3日(木) 立神相撲
- 8日(火) 始業式 給食開始
- 9日(水) 3年実力テスト
- 10日(木) 3年実力テスト
- 12日(土) 土曜授業
- 15日(火) 朝の声かけ(1-1) 青パトの日
- 16日(水) 鹿児島学習定着度調査 SC(午後)
- 17日(木) 鹿児島学習定着度調査
- 18日(金) 朝の声かけ(1-1)
- 19日(土) 春の祭典(2-2出場)
- 22日(火) 入学説明会